

研究データ利活用協議会 2022年12月~2023年度

活動総括

2024年2月 研究データ利活用協議会



- ◆会員数の推移、企画委員
- ◆2022年12月~2023年度の活動総括
 - 1. 活動方針
 - 2. 企画委員会・総会
 - 3. イベント
 - 4. 小委員会・部会の設置
- ◆今後の活動予定



個人会員数推移



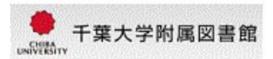
現在の個人会員数は198名



機関会員(8機関)



















科学技術・学術政策研究所

National Institute of Science and Technology Policy

機関会員:RDUF の活動の趣旨に賛同し、RDUFの活動に主体的に関わる機関 2023年度の新規加入なし



2022·2023年度企画委員(敬称略)

大向 一輝 (委員長)

툳)

南山泰之(副委員長)

井上 佐知子

大園 岳雄 ※2022年度

熊崎 由衣 ※2023年度

小野寺 千栄

權田 真幸

齊藤 千鶴

高井 貴子

武田 英明

中島 律子

林 和弘

藤井 幹也

松本 崇博

村山泰啓

東京大学

国立情報学研究所

国立国会図書館

千葉大学附属図書館

千葉大学附属図書館

物質・材料研究機構

日本原子力研究開発機構

海洋研究開発機構

日本医療研究開発機構

国立情報学研究所

科学技術振興機構

文部科学省 科学技術・学術政策研究所

奈良先端科学技術大学院大学

高輝度光科学研究センター

情報通信研究機構

計15名

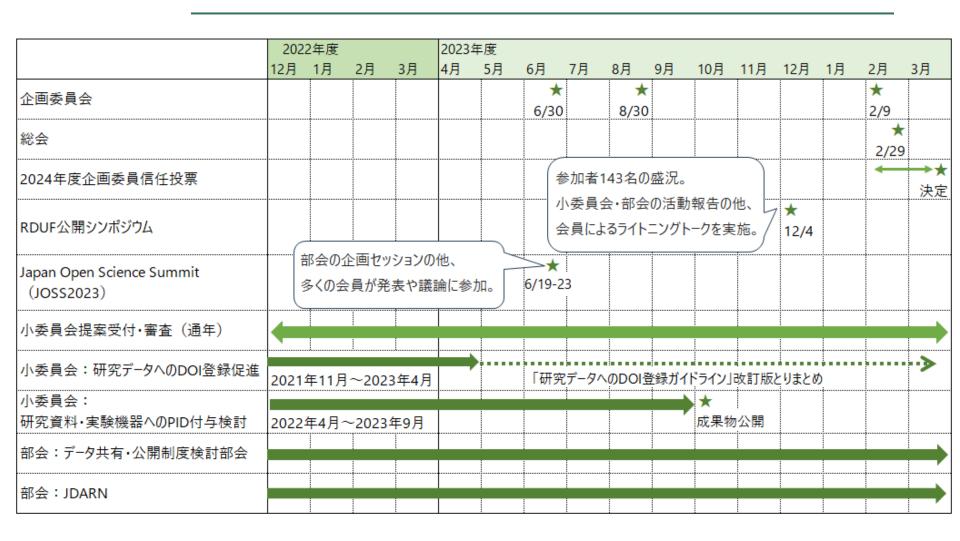


2022年度および2023年度活動方針

- 1. 様々な知見やユースケースを共有し、 関係者間のネットワークを構築・強化するための場をつくる。
- 2. 参加機関の現場の抱える関心事などについて検討し、 その結果を「研究データ利活用協議会」の成果物 (ガイドライン、ノウハウ集、事例集など)としてまとめる ことを目指す。
- 3. 普及・広報活動を強化し、「研究データ利活用協議会」のプレゼンス向上を図る。



2022年12月~2023年度の活動





企画委員会・総会

- ◆ 企画委員会(6/30、8/30、2/9の3回)。
 - 部会・小委員会との情報共有
 - ▶ 小委員会・部会間、および企画委員とのコミュニケーションの促進 ならびに成果物作成等における意見交換の場の提供が目的。
 - ➤ 第 2回 企画委員会にて実施。データ共有・公開制度検討部会、およびJDARNが参加。活動の近況、成果物や議論の進捗・悩み相談、 企画委員会やRDUFの運営などに関して意見交換を行った。
 - RDUFの今後の方針についての議論が進行中
 - ➤ 2016年の設立当初から、研究データを取り巻く状況やRDUFの 活動目的は変化してきている。
 - ▶ 有意義なコミュニティ活動を継続するため、 今後の方針について議論中。
- ◆ 総会(本日)
 - 2022年12月~2023年度の総括および2024年度の予定



イベント

- ◆ Japan Open Science Summit JOSS2023 (2023.6.19-23 オンライン)
 - オープンサイエンスに関する日本最大の会議。RDUFは協力機関。
 - データ共有・公開制度検討部会が企画セッション開催。
 - 多くの会員が発表や議論に参加。

- ◆公開シンポジウム(2023.12.4 ハイブリッド)
 - ・部会/小委員会の活動報告
 - ・会員によるライトニングトーク
 - · 招待講演

148名が参加。

ライトニングトークが好評。



説明会資料・動画をWEBサイトにて公開しました。

https://japanlinkcenter.org/rduf/events/index.html#s002



小委員会について

◆小委員会設置の目的

研究データ利活用について議論するResearch Data Alliance (RDA)に倣って、有志による議論・意見交換を行い、研究データの利活用に向けて提言や指針をまとめる場として設置する。

まとめられた提言などは成果物として公開し、活用を図っていく。

◆活動内容

グループ討議、全体討議、外部発表等



小委員会の活動

◆研究データへの DOI 登録促進小委員会(2021.11~2023.4)

• 「研究データへのDOI登録ガイドライン」改訂版および 登録促進に向けた提言の総仕上げのための議論などを行った。

「研究データへのDOI登録ガイドライン」改訂版を公開予定

- ◆研究資料・実験機器へのPID付与検討小委員会(2022.4~2023.9)
 - 提言の方向性など成果報告書のとりまとめについて議論した。
 - RDAのPIDINST(PID for Instruments) が公開している各種ドキュメントの日本語版の完成・公開に向けた活動を行った。

<u>"PIDINST Whitepaper" "ePIC Cookbook" "DataCite Cookbook"</u> 日本語版を公開



部会について

部会設置の目的:小委員会活動等によって得られた知見の継承と展開を長期的、 継続的に行うことを目的とし、活動期限に縛られない【部会】を設置する。

2つの部会が活動中

> データ共有・公開制度検討部会

研究データにどのようなライセンスを付与するのが適切かを探ることを目的し、以下の活動を行う。

- ・「研究データの公開・利用条件指定ガイドライン」の広報活動及び点検・更新
- ・研究データ利活用にまつわる法的・制度的課題に関する論点の検討、体制整備支援
- ・政策提言を見据えたドキュメンテーション作成 等

➤ ジャパンデータリポジトリネットワーク推進部会(JDARN)

リポジトリ関係者間でのコミュニティ形成と共通する問題の議論を目的とし、以下の活動を行う。

- ・ミーティング・勉強会・セミナーの開催
- ・RDUF 総会・シンポジウム、JOSS などオープンサイエンス関連イベントへの参加



今後の活動予定

	2024年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画委員会			*			*					*	
総会												*
2025年度企画委員信任投票											-	-
RDUF公開シンポジウム								*				
Japan Open Science Summit(JOSS2024)			*									
小委員会提案受付·審査(通年)	—											\Rightarrow
部会(データ共有・公開制度検討部会)												\Rightarrow
部会(JDARN)												\Rightarrow



今後の活動予定

- ◆ 次年度企画委員選出手続き
 - 2月~3月実施予定
 - →信任投票は個人会員によって行います。 ご協力をお願いいたします!

◆新規小委員会設置 通年受け付けています。